

### 第3章 対象計画区域の概況

#### 3-1 市区町村の状況

対象計画区域の市区町村の状況は、表3-1-1に示すとおりである（図3-1参照）。

表3-1-1 市区町村の状況

項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
市区町村数	46	10	22	1	14	8	27
調査面積 (km <sup>2</sup> )	1025.2	702.2	2125.1	270.8	1332.8	1244.6	1083.1

注) 表中の市区町村数には、東京都の特別区を含み、政令指定都市（川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、名古屋市）の区を含まない。

#### 3-2 土地利用の状況

対象計画区域の土地利用の状況は、表3-2-1に示すとおりである（図3-2参照）。

表3-2-1(1) 土地利用の状況

区分	東京都		神奈川県		山梨県		静岡県	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
1. 田	5.4	0.5	9.3	1.3	74.9	3.5	0.0	0.0
2. その他の農用地	30.1	2.9	48.9	7.0	211.5	10.0	0.1	0.0
3. 森林	129.3	12.6	333.9	47.5	1537.0	72.3	249.4	92.1
4. 荒地	5.7	0.6	7.6	1.1	46.7	2.2	18.2	6.8
5. 建物用地	654.7	63.9	206.2	29.4	154.1	7.2	0.0	0.0
6. 幹線交通用地	38.2	3.7	9.1	1.3	12.2	0.6	—	—
7. その他の用地	111.3	10.9	47.7	6.8	19.8	0.9	0.1	0.0
8. 河川地および湖沼	34.2	3.3	28.5	4.0	52.5	2.5	3.0	1.1
9. 海浜	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
10. 海水域	6.5	0.6	—	—	—	—	—	—
11. ゴルフ場	9.8	1.0	11.0	1.6	16.4	0.8	—	—
合計	1025.2	100.0	702.2	100.0	2125.1	100.0	270.8	100.0

資料：「国土数値情報 土地利用3次メッシュ」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）より作成

表3-2-1(2) 土地利用の状況

区分	都県名	長野県		岐阜県		愛知県	
		面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
1. 田		57.6	4.3	126.8	10.2	132.5	12.2
2. その他の農用地		67.4	5.1	32.0	2.6	39.4	3.6
3. 森林		1135.1	85.2	893.5	71.8	246.1	22.7
4. 荒地		17.3	1.3	19.0	1.5	15.8	1.5
5. 建物用地		33.5	2.5	86.3	6.9	515.4	47.6
6. 幹線交用地		4.1	0.3	8.6	0.7	23.2	2.1
7. その他の用地		4.1	0.3	21.3	1.7	54.9	5.1
8. 河川地および湖沼		12.3	0.9	15.5	1.3	33.1	3.1
9. 海浜		—	—	—	—	—	—
10. 海水域		—	—	—	—	7.0	0.6
11. ゴルフ場		1.4	0.1	41.6	3.3	15.7	1.5
合計		1332.8	100.0	1244.6	100.0	1083.1	100.0

資料：「国土数値情報 土地利用3次メッシュ」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）より作成

### 3-3 人口の状況

対象計画区域の人口の状況は、表3-3-1に示すとおりである（[図3-3](#)参照）。

表3-3-1 人口の状況

単位：人

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
人口	9,665,278	2,621,306	744,025	6	158,952	358,082	3,569,422

資料：「地図で見る統計（統計GIS）」（平成23年4月現在、独立行政法人統計センターホームページ）より作成

### 3-4 大気環境の状況

#### 3-4-1 大気質の概要

平成20年度における対象計画区域の大気質の状況は、表3-4-1に示すとおりである（[図3-4](#)参照）。

表3-4-1(1) 大気質の状況（二酸化窒素）

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
一般局	大気汚染常時監視測定局数 (箇所)	36	14	9	0	1	3	27
	二酸化窒素濃度 (ppm) (日平均値の年間98%値)	0.022 ～ 0.049	0.025 ～ 0.044	0.020 ～ 0.032	—	0.020	0.023 ～ 0.027	0.022 ～ 0.050
自排局	大気汚染常時監視測定局数 (箇所)	35	9	1	0	1	1	21
	二酸化窒素濃度 (ppm) (日平均値の年間98%値)	0.032 ～ 0.078	0.038 ～ 0.062	0.033	—	0.031	0.035	0.030 ～ 0.061
環境基準		1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。						

注) 一般局：一般環境大気測定局の略。環境大気の汚染状況を常時監視する測定局。

自排局：自動車排出ガス測定局の略。自動車排出ガスによる環境大気の汚染状況を常時監視する測定局。

資料：「大気汚染状況の常時監視結果」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

表3-4-1(2) 大気質の状況（浮遊粒子状物質）

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
一般局	大気汚染常時監視測定局数 (箇所)	38	14	9	0	1	4	27
	浮遊粒子状物質濃度 (mg/m <sup>3</sup> ) (日平均値の年間2%除外値)	0.043 ～ 0.073	0.046 ～ 0.064	0.042 ～ 0.056	—	0.037	0.042 ～ 0.061	0.045 ～ 0.07
自排局	大気汚染常時監視測定局数 (箇所)	34	9	2	0	1	1	21
	浮遊粒子状物質濃度 (mg/m <sup>3</sup> ) (日平均値の年間2%除外値)	0.047 ～ 0.080	0.053 ～ 0.067	0.052 ～ 0.058	—	0.052	0.055	0.048 ～ 0.067
環境基準		1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。						

注) 一般局：一般環境大気測定局の略。環境大気の汚染状況を常時監視する測定局。

自排局：自動車排出ガス測定局の略。自動車排出ガスによる環境大気の汚染状況を常時監視する測定局。

資料：「大気汚染状況の常時監視結果」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

### 3-4-2 NOx総量規制地域等の指定状況

対象計画区域のNOx（窒素酸化物）総量規制地域等の指定状況は、表3-4-2に示すとおりである（[図3-5](#)、[図3-6](#)参照）。

表3-4-2 NOx総量規制地域等の指定状況

項目	都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
NOx総量規制地域の指定地域のある市区町村数		28	2	0	0	0	0	0
自動車NOx・PM法の対策地域のある市区町村数		45	8	0	0	0	0	27

注) 表中の市区町村数には、東京都の特別区を含み、政令指定都市（川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、名古屋市）の区を含まない。

資料：「大気環境の規制・指定の状況」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

### 3-4-3 騒音・振動・悪臭の規制地域の状況

対象計画区域の騒音・振動・悪臭の規制地域の状況は、表3-4-3に示すとおりである（[図3-7](#)参照）。

表3-4-3 騒音・振動・悪臭の規制地域の状況

項目	都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
騒音規制法に基づく規制地域のある市区町村数		45	7	22	1	1	8	27
振動規制法に基づく規制地域のある市区町村数		45	7	22	1	1	8	27
悪臭防止法に基づく規制地域のある市区町村数		46	10	21	1	1	8	27

注) 表中の市区町村数には、東京都の特別区を含み、政令指定都市（川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、名古屋市）の区を含まない。

資料：「生活環境情報サイト」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

## 3-5 水環境の状況

### 3-5-1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定の状況

対象計画区域の水質汚濁に係る環境基準の類型指定の状況は、表3-5-1に示すとおりである（[図3-8](#)参照）。

表3-5-1(1) 「水質汚濁に係る環境基準（河川）」の類型指定の状況（延長）

単位：km

項目 利用目的の適応性		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
AA 類型	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	0.7	—	20.1	42.6	107.9	11.9	—
A 類型	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	41.4	56.4	178.8	—	41.3	147.5	7.7
B 類型	水道3級、水産2級、及びC以下の欄に掲げるもの	93.2	36.1	70.4	—	—	86.9	6.9
C 類型	水産3級、工業用水1級、及びD以下の欄に掲げるもの	148.1	4.6	15.9	—	—	8.3	23.1
D 類型	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	96.5	24.9	—	—	—	—	91.8
E 類型	工業用水3級 環境保全	15.6	1.5	—	—	—	—	76.0

注) 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

資料：「公共用水域水質環境基準指定類型水域」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

表3-5-1(2) 「水質汚濁に係る環境基準（湖沼）」の類型指定の状況（箇所数）

単位：箇所

項目 利用目的の適応性		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
AA 類型	水道1級、水産1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	0	0	0	0	0	0	0
A 類型	水道2・3級、水産2級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	0	3	3	0	0	0	0
B 類型	水産3級、工業用水1級、農業用水及びCの欄に掲げるもの	0	0	0	0	0	0	0
C 類型	工業用水2級、環境保全	0	0	0	0	0	0	0

注) 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2・3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

水産1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用

工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの

環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

資料：「公共用水域水質環境基準指定類型水域」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）

「水域類型指定状況」（平成23年4月現在、神奈川県ホームページ\*）より作成

\*) 神奈川県の湖沼については、平成23年4月に指定および見直し指定を行っているため、神奈川県のホームページを資料に加えた。

### 3-5-2 工業用水法の指定地域の状況

対象計画区域の工業用水法の指定地域の状況は表3-5-2に示すとおりである（図3-9参照）。

表3-5-2 工業用水法の指定地域の状況

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
指定地域のある 市区町村数	8	1	0	0	0	0	14

注1) 表中の市区町村数には、東京都の特別区を含み、政令指定都市（川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、名古屋市）の区を含まない。

注2) 指定地域は、地下水を採取したことにより、地下水の水位が異常に低下し、塩水若しくは汚水が地下水の水源に混入し、又は地盤が沈下している一定の地域として、政令で定められている。

資料：「水環境の規制・指定の状況」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

### 3-5-3 建築物用地下水の採取の規制に関する法律の規制地域の状況

対象計画区域の建築物用地下水の採取の規制に関する法律の規制地域の状況は、表3-5-3に示すとおりである（図3-10参照）。

表3-5-3 建築物用地下水の採取の規制に関する法律の規制地域の状況

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
規制地域のある 市区町村数	23	0	0	0	0	0	0

注1) 表中の市区町村数には、東京都の特別区を含み、政令指定都市（川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、名古屋市）の区を含まない。

注2) 規制地域は、地下水を採取したことにより地盤が沈下し、これに伴って高潮、出水等による災害が生ずるおそれがある地域として、政令で定められている。

資料：「水環境の規制・指定の状況」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）より作成

### 3-5-4 湧水および名水の分布状況

対象計画区域の湧水および名水の分布状況は、表3-5-4に示すとおりである（図3-11参照）。

表3-5-4 湧水および名水の分布状況

単位：箇所

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
湧水	167	10	2	0	2	6	4
名水百選	1	0	0	0	1	0	0
平成の名水百選	0	0	1	0	0	0	1

資料：「湧水保全ポータルサイト」（平成23年4月現在、国立環境研究所ホームページ）

「名水百選」、「平成の名水百選」（平成23年4月現在、環境省ホームページ）より作成

### 3-5-5 水源の分布状況

水源の分布状況は、詳細な場所が明確に示されていないため、対象計画区域が通過する市町村に存在する水源の箇所数を整理した。その結果は、表3-5-5に示すとおりである。

表3-5-5 水源の分布状況

単位：箇所

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
水源	13	62	141	39	24	27	96

資料：「水道水質データベース」（平成23年4月現在、社団法人日本水道協会ホームページ）より作成

### 3-6 土壌環境・その他の状況

#### 3-6-1 土壌汚染対策法に基づく要措置区域および形質変更時要届出区域の状況

対象計画区域の土壌汚染対策法の要措置区域および形質変更時要届出区域の状況は、表3-6-1に示すとおりである（図3-12参照）。

表3-6-1 土壌汚染対策法の要措置区域および形質変更時要届出区域の状況

単位：箇所

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
要措置区域	5	1	0	0	0	0	1
形質変更時要届出区域	41	5	1	0	0	1	17

資料：「土壌汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域」（平成23年4月現在、環境省ホームページ）より作成

#### 3-6-2 注目すべき地形・地質の分布状況

対象計画区域の注目すべき地形・地質の分布状況は、表3-6-2に示すとおりである（図3-13参照）。

表3-6-2 注目すべき地形・地質の分布状況

単位：箇所

都県名 項目	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
危機にある地形	5	4	5	0	2	1	1
保存すべき地形	0	11	22	0	0	0	0
地形・地質・自然現象 (環境省すぐれた自然図より)	4	5	41	2	3	5	3

資料：「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版 —危機にある地形—」

(平成12年12月、日本の地形レッドデータブック作成委員会)

「日本の地形レッドデータブック 第2集 —保存すべき地形—」

(平成14年3月、日本の地形レッドデータブック作成委員会)

「東京都すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「神奈川県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「山梨県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「静岡県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「長野県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「岐阜県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）

「愛知県すぐれた自然図」（昭和51年、環境庁）より作成

### 3-6-3 鉱山の分布状況

対象計画区域の鉱山の分布状況は、表3-6-3に示すとおりである（図3-14参照）。

表3-6-3 鉱山の分布状況

単位：箇所

項目 \ 都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
稼行鉱山	0	0	0	0	1	26	29
休廃止鉱山	0	0	2	0	0	24	16

資料：「関東地方土地質図解説書」（平成8年3月、関東地方土地質図編集委員会）  
「中部地方土地質図解説書」（平成4年12月、中部地方土地質図編集委員会）より作成

### 3-6-4 文化財の指定状況

対象計画区域の文化財の指定状況は、表3-6-4に示すとおりである（図3-15参照）。

表3-6-4 文化財の指定状況

単位：箇所

項目 \ 都県名		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
国指定	史跡	43	5	8	0	2	4	13
	名勝	5	0	2	0	1	2	1
	天然記念物	6	0	7	0	1	7	2
	特別史跡	3	0	0	0	0	0	1
	特別名勝	3	0	0	0	0	0	0
	小計	56 <sup>注)</sup>	5	17	0	4	12 <sup>注)</sup>	17
都・県指定	史跡	60	6	22	0	8	30	8
	旧跡	208	0	0	0	0	0	0
	名勝	8	0	5	0	0	0	2
	天然記念物	26	10	53	0	12	24	6
	小計	302	16	80	0	20	54	16
合計		358	21	97	0	24	66	33

注) 東京都および岐阜県において、同一の文化財が複数の項目に指定されているため、小計が一致していない。

資料：「文化庁ホームページ」（平成23年4月現在）

「東京都文化財総合目録」（平成16年3月、東京都）

「神奈川県文化財目録」（平成20年3月、神奈川県）

「平成16年度版山梨県文化財分布図」（平成16年3月、山梨県教育委員会）

「静岡県文化財マップ」（静岡県）

「しんしゅうくらしのマップ 観光」（平成23年4月現在、長野県ホームページ）

「県域統合型GISぎふ文化財」（平成23年4月現在、(財)岐阜県建設研究センターホームページ）

「県内の国・県指定文化財一覧」（平成23年4月現在、愛知県ホームページ）より作成



### 3-7 動物・植物・生態系の状況

#### 3-7-1 自然公園の指定状況

対象計画区域の自然公園（国立公園、国定公園、都県立自然公園）の指定状況は、表3-7-1に示すとおりである（図3-16参照）。

表3-7-1 自然公園の指定状況

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
特別保護地区	箇所数	0	1	1	1	1	1	0
	面積(km <sup>2</sup> )	—	16.1	4.0	24.2	1.1	0.1	—
第1～3種 特別地域	箇所数	2	3	5	2	4	4	2
	面積(km <sup>2</sup> )	21.1	176.3	218.4	21.3	146.9	30.5	66.3
普通地域	箇所数	4	2	3	0	2	4	2
	面積(km <sup>2</sup> )	74.2	25.5	51.8	—	59.1	78.4	9.8

資料：「国立公園マップ」（平成23年4月現在、(財)自然公園財団ホームページ）  
「国土数値情報 自然公園地域」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）  
「東京都の公園緑地マップ2010」（平成22年3月、東京都建設局公園緑地部計画課編集）  
「神奈川県公園緑地等配置図」（平成18年3月、神奈川県）  
「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
「静岡県総合管内図 静岡県自然公園・自然環境保全地域配置図」（平成22年4月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課）  
「しんしゅうくらしのマップ 自然・環境」（平成23年4月現在、長野県ホームページ）  
「県域統合型GISぎふ」（平成23年4月現在、(財)岐阜県建設研究センターホームページ）  
「愛知県自然公園等配置図」（平成21年2月、愛知県環境部自然環境課）より作成

#### 3-7-2 自然環境保全地域等の指定状況

対象計画区域の自然環境保全地域等（原生自然公園地域、自然環境保全地域、都県立自然環境保全地域）の指定状況は、表3-7-2に示すとおりである（図3-17参照）。

表3-7-2 自然環境保全地域等の指定状況

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
原生自然環境 保全地域	箇所数	0	0	0	0	0	0	0
	面積(km <sup>2</sup> )	—	—	—	—	—	—	—
自然環境 保全地域	箇所数	0	0	0	0	0	0	0
	面積(km <sup>2</sup> )	—	—	—	—	—	—	—
都県立自然 環境保全地域	箇所数	1	25	7	0	1	1	4
	面積(km <sup>2</sup> )	4.1	22.6	14.4	—	1.5	0.5	1.6

資料：「国土数値情報 自然環境保全区域」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）  
「東京都の公園緑地マップ2010」（平成22年3月、東京都建設局公園緑地部計画課編集）  
「神奈川県公園緑地等配置図」（平成18年3月、神奈川県）  
「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県森林環境部みどり自然課）  
「静岡県総合管内図 静岡県自然公園・自然環境保全地域配置図」（平成22年4月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課）  
「しんしゅうくらしのマップ 自然・環境」（平成23年4月現在、長野県ホームページ）  
「県域統合型GISぎふ」（平成23年4月現在、(財)岐阜県建設研究センターホームページ）  
「愛知県自然公園等配置図」（平成21年2月、愛知県環境部自然環境課）より作成

### 3-7-3 特別緑地保全地区等の指定状況

対象計画区域の特別緑地保全地区等の指定状況は、表3-7-3に示すとおりである（図3-18参照）。

表3-7-3 特別緑地保全地区等の指定状況

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
特別緑地保全地区	箇所数	17	60	0	0	0	2	67
	面積(km <sup>2</sup> )	—	1.8	—	—	—	—	—
近郊緑地保全地域	箇所数	0	2	0	0	0	0	0
	面積(km <sup>2</sup> )	—	—	—	—	—	—	—

資料：「都市緑化データベース」（平成23年4月現在、国土交通省都市・地域整備局ホームページ）  
「国土数値情報 三大都市圏計画区域」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）より作成

### 3-7-4 鳥獣保護区の指定状況

対象計画区域の鳥獣保護区の指定状況は、表3-7-4に示すとおりである（図3-19参照）。

表3-7-4 鳥獣保護区の指定状況

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
鳥獣保護区	箇所数	15	26	27	2	16	20	13
	面積(km <sup>2</sup> )	215.1	114.3	188.0	102.5	173.9	113.1	43.2
特別保護地区	箇所数	1	3	2	0	2	5	2
	面積(km <sup>2</sup> )	4.9	22.2	2.7	—	3.8	4.8	4.1

資料：「国土数値情報 鳥獣保護区」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）  
「平成22年度鳥獣保護区等位置図」（平成22年10月、東京都環境局）  
「平成22年度神奈川県鳥獣保護区等位置図」（平成22年10月、神奈川県）  
「平成22年度鳥獣保護区等位置図」（山梨県森林環境部みどり自然課）  
「平成22年度静岡県鳥獣保護区等位置図」（平成22年10月、静岡県）  
「平成22年度長野県鳥獣保護区等位置図」（長野県）  
「平成22年度岐阜県鳥獣保護区等位置図」（平成22年9月、岐阜県）  
「平成22年度愛知県鳥獣保護区等位置図」（愛知県）より作成

### 3-7-5 農業地域の指定状況

対象計画区域の農業地域の指定状況は、表3-7-5に示すとおりである（[図3-20](#)参照）。

表3-7-5 農業地域の指定状況

単位：km<sup>2</sup>

項目 \ 都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
農業地域	33.0	106.0	1519.1	—	505.8	289.9	291.0
農用地区域	1.3	22.2	182.0	—	117.2	176.5	107.2

資料：「国土数値情報 農業地域」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）より作成

### 3-7-6 森林地域の指定状況

対象計画区域の森林地域（国有林、地域森林計画対象民有林、保安林）の指定状況は、表3-7-6に示すとおりである（[図3-21](#)参照）。

表3-7-6 森林地域の指定状況

単位：km<sup>2</sup>

項目 \ 都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
国有林	12.1	24.5	22.0	8.2	352.0	127.1	25.0
地域森林計画対象民有林	85.9	302.3	1507.5	262.0	770.7	743.4	209.8
保安林	25.7	197.8	795.4	94.7	715.6	302.0	92.8

資料：「国土数値情報 森林地域」（平成23年4月現在、国土交通省国土計画局ホームページ）より作成

### 3-7-7 植生区分の概要

対象計画区域の植生区分の概要は、表3-7-7に示すとおりである（[図3-22](#)参照）。

表3-7-7(1) 植生区分の概要

区分	東京都		神奈川県		山梨県		静岡県	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
1. 高山低木群落	—	—	—	—	1.3	0.1	15.8	5.8
2. 高山ハイデおよび風衝 草地	—	—	—	—	0.6	0.0	7.7	2.8
3. 雪田草原	—	—	—	—	—	—	0.1	0.0
4. 常緑針葉樹林自然植生	2.3	0.2	0.1	0.0	76.8	3.6	149.1	55.2
5. 落葉広葉樹林自然植生	0.5	0.1	39.0	5.6	135.2	6.4	46.8	17.3
6. 常緑広葉樹林自然植生	2.0	0.2	4.5	0.6	1.2	0.1	—	—
7. 自然草原	0.0	0.0	3.6	0.5	8.1	0.4	2.4	0.9
8. 自然裸地	2.6	0.3	2.9	0.4	7.7	0.4	10.4	3.8
9. 落葉広葉樹二次林	61.6	6.0	180.6	25.7	655.8	30.8	35.5	13.1
10. 常緑針葉樹二次林	1.2	0.1	—	—	0.2	0.0	—	—
11. 常緑広葉樹二次林	—	—	0.2	0.0	—	—	—	—
12. 植林地	59.1	5.8	103.7	14.8	567.5	26.7	0.3	0.1
13. 二次草原	24.2	2.4	16.4	2.3	105.1	4.9	1.1	0.4
14. 湿原・河川・池沼植生・ 河辺林・溪畔林	36.0	3.5	20.3	2.9	19.5	0.9	0.5	0.2
15. 牧草地・ゴルフ場・芝 地	19.3	1.9	16.2	2.3	6.2	0.3	—	—
16. 竹林	1.9	0.2	2.2	0.3	0.2	0.0	—	—
17. 耕作地	57.6	5.6	87.4	12.4	360.6	17.0	0.0	0.0
18. 市街地等	756.4	73.7	225.1	32.2	179.0	8.4	1.1	0.4
19. その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	—	—
合計	1025.2	100.0	702.2	100.0	2125.1	100.0	270.8	100.0

資料：「第2回、第3回、第4回、第5回自然環境保全基礎調査（植生調査）」  
（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

表3-7-7(2) 植生区分の概要

区分	都県名		長野県		岐阜県		愛知県	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
1. 高山低木群落	3.8	0.3	0.0	0.0	—	—	—	—
2. 高山ハイデおよび風衝草地	0.7	0.1	—	—	—	—	—	—
3. 雪田草原	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
4. 常緑針葉樹林自然植生	331.6	24.9	18.9	1.5	0.4	0.0	—	—
5. 落葉広葉樹林自然植生	24.3	1.8	16.2	1.3	0.3	0.0	—	—
6. 常緑広葉樹林自然植生	—	—	0.2	0.0	4.1	0.4	—	—
7. 自然草原	8.1	0.6	5.1	0.4	—	—	—	—
8. 自然裸地	17.5	1.3	7.9	0.6	0.1	0.0	—	—
9. 落葉広葉樹二次林	407.7	30.5	269.7	21.7	46.6	4.3	—	—
10. 常緑針葉樹二次林	0.0	0.0	229.6	18.4	119.3	11.0	—	—
11. 常緑広葉樹二次林	—	—	—	—	0.1	0.0	—	—
12. 植林地	339.4	25.5	334.3	27.0	90.0	8.3	—	—
13. 二次草原	2.4	0.2	2.9	0.2	7.6	0.7	—	—
14. 湿原・河川・池沼植生・河辺林・溪畔林	3.0	0.2	12.5	1.0	34.4	3.2	—	—
15. 牧草地・ゴルフ場・芝地	2.5	0.2	34.7	2.8	12.7	1.2	—	—
16. 竹林	1.2	0.1	1.6	0.1	0.8	0.1	—	—
17. 耕作地	154.7	11.6	169.1	13.6	289.4	26.7	—	—
18. 市街地等	35.9	2.7	141.9	11.4	477.2	44.1	—	—
19. その他	—	—	—	—	0.1	0.0	—	—
合計	1332.8	100.0	1244.6	100.0	1083.1	100.0	—	—

資料：「第2回、第3回、第4回、第5回自然環境保全基礎調査（植生調査）」  
（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

### 3-7-8 自然性の高い植生の概要

対象計画区域の自然性の高い植生の概要は、表3-7-8に示すとおりである（図3-23参照）。

表3-7-8(1) 自然性の高い植生の概要

区分	東京都		神奈川県		山梨県		静岡県	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)
1. 高山低木群落	—	—	—	—	1.3	0.1	15.8	5.8
2. 高山ハイデおよび風衝草地	—	—	—	—	0.6	0.0	7.7	2.8
3. 雪田草原	—	—	—	—	—	—	0.1	0.0
4. 常緑針葉樹林自然植生	2.3	0.2	0.1	0.0	76.8	3.6	149.1	55.2
5. 落葉広葉樹林自然植生	0.5	0.1	39.0	5.6	135.2	6.4	46.8	17.3
6. 常緑広葉樹林自然植生	2.0	0.2	4.5	0.6	1.2	0.1	—	—
7. 自然草原	0.0	0.0	3.6	0.5	8.1	0.4	2.4	0.9
8. 自然裸地	2.6	0.3	2.9	0.4	7.7	0.4	10.4	3.8
9. その他	1017.8	99.2	652.1	92.9	1894.2	89.0	38.5	14.2
合計	1025.2	100.0	702.2	100.0	2125.1	100.0	270.8	100.0

資料：「第2回、第3回、第4回、第5回自然環境保全基礎調査（植生調査）」  
（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

表3-7-8(2) 自然性の高い植生の概要

区分	長野県		岐阜県		愛知県	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )	割合 (%)	割合 (%)	面積 (km <sup>2</sup> )
1. 高山低木群落	3.8	0.3	0.0	0.0	—	—
2. 高山ハイデおよび風衝草地	0.7	0.1	—	—	—	—
3. 雪田草原	0.0	0.0	—	—	—	—
4. 常緑針葉樹林自然植生	331.6	24.9	18.9	1.5	0.4	0.0
5. 落葉広葉樹林自然植生	24.3	1.8	16.2	1.3	0.3	0.0
6. 常緑広葉樹林自然植生	—	—	0.2	0.0	4.1	0.4
7. 自然草原	8.1	0.6	5.1	0.4	—	—
8. 自然裸地	17.5	1.3	7.9	0.6	0.1	0.0
9. その他	946.8	71.0	1196.3	96.2	1078.2	99.6
合計	1332.8	100.0	1244.6	100.0	1083.1	100.0

資料：「第2回、第3回、第4回、第5回自然環境保全基礎調査（植生調査）」  
（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

### 3-7-9 特定植物群落の分布状況

対象計画区域の特定植物群落の分布状況は、表3-7-9に示すとおりである（図3-24参照）。

表3-7-9 特定植物群落の分布状況

項目		都県名						
		東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
分布地	箇所数	3	0	2	3	0	0	0
分布地域	箇所数	45	45	44	5	16	14	14
	面積 (km <sup>2</sup> )	16.6	39.9	18.5	0.7	236.6	1.7	0.7

資料：「第2回、第3回、第5回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」  
 （平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

### 3-7-10 巨樹・巨木林の分布状況

対象計画区域の巨樹・巨木林の分布状況は、表3-7-10に示すとおりである。なお、静岡県内の対象計画区域には、巨樹・巨木林の記載はない（図3-25参照）。

表3-7-10(1) 巨樹・巨木林の分布状況

東京都			神奈川県			山梨県		
上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)	上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)	上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)
1. イチョウ	6	5箇所 1.4 km <sup>2</sup>	1. ケヤキ	57	3箇所 0.7 km <sup>2</sup>	1. ケヤキ	111	11箇所 0.7 km <sup>2</sup>
2. ケヤキ	2		2. イチョウ	26		2. スギ	76	
3. カシ	1		3. スダジイ	16		3. イチョウ	17	
3. クスノキ	1		4. クスノキ	15		4. モミ	16	
3. スギ	1		5. スギ	13		5. カヤ	12	
3. スダジイ	1		6. タブノキ	12		6. エノキ	11	
3. タブノキ	1		7. アラカシ	4		6. クロマツ	11	
3. マツ	1		8. エノキ	3		6. シラカシ	11	
9. —	—		8. シラカシ	3		6. トチノキ	11	
10. —	—		10. アカガシ等 13種	1		10. ヒノキ	9	
合計 <sup>注1</sup>	19 <sup>注2</sup>		合計	162		合計	373	

注1) 合計欄は都県に分布する巨樹・巨木林の合計本数であり、上位10種の合計とは相違する場合がある。

注2) 樹種不明の巨樹が5本含まれる。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木林調査）」  
 （平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

表3-7-10(2) 巨樹・巨木林の分布状況

長野県			岐阜県			愛知県		
上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)	上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)	上位10種・合計	巨樹(本)	巨木林(樹林・並木)
1. スギ	30	4箇所 0.1 km <sup>2</sup>	1. スギ	45	4箇所 0.2 km <sup>2</sup>	1. クスノキ	49	7箇所 0.0 km <sup>2</sup>
2. イチョウ	11		2. イチョウ	9		2. イチョウ	25	
2. エドヒガン	11		3. カヤ	8		3. ムクノキ	18	
2. トチノキ	11		4. モミ	5		4. スギ	17	
5. アカマツ	10		5. ヒノキ	5		5. エノキ	7	
6. ケヤキ	7		6. ケヤキ	3		5. ツブラジイ	7	
7. ヒノキ	6		7. アカガシ	2		5. シイノキ	7	
8. アラカシ	4		7. カシ	2		8. クロガネモチ	5	
8. カヤ	4		7. ツクバネガシ	2		9. ケヤキ等3種	3	
10. カツラ	3		7. ナラ	2		10. —	—	
合計	105		合計	91		合計	167	

注1) 合計欄は都県に分布する巨樹・巨木林の合計本数であり、上位10種の合計とは相違する場合がある。

注2) 樹種不明の巨樹が5本含まれる。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木林調査）」

(平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ) より作成

### 3-7-11 藻場・干潟の分布状況

対象計画区域の藻場・干潟の分布状況は、表3-7-11に示すとおりである（図3-26参照）。

なお、対象計画区域に藻場は存在していなかった。

表3-7-11 藻場・干潟の分布状況

項目	都県名	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
	現存する干潟	箇所数	2	0	0	0	0	0
面積 (km <sup>2</sup> )		1.4	—	—	—	—	—	3.1
消滅した干潟	箇所数	4	0	0	0	0	0	0
	面積 (km <sup>2</sup> )	0.3	—	—	—	—	—	—

資料：「第4回、第5回自然環境保全基礎調査（藻場・干潟調査）」

(平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ) より作成

### 3-7-12 ラムサール条約湿地の分布状況

対象計画区域のラムサール条約湿地の分布状況は、愛知県に1箇所（藤前干潟：2.7 km<sup>2</sup>）である（図3-27参照）。



### 3-8 人と自然との触れ合いの状況

#### 3-8-1 都県独自制度による地域の指定状況

対象計画区域の都県独自制度による地域の指定状況は、表3-8-1に示すとおりである(図3-28参照)。

表3-8-1 都県独自制度による地域の指定状況

都県名	独自制度	指定地域	
		箇所数	面積 (km <sup>2</sup> )
東京都	緑地保全地域	28	1.1
	歴史環境保全地域	4	1.9
	里山保全地域	1	0.1
神奈川県	—	—	—
山梨県	景観保存地区	6	7.1
	歴史景観保全地区	4	1.1
静岡県	—	—	—
長野県	郷土環境保全地域	4	22.3
岐阜県	緑地環境保全地域 (普通地区)	3	4.8
	緑地環境保全地域 (特別地区)	1	0.1
愛知県	—	—	—

資料：「東京都の公園緑地マップ2010」（平成22年3月、東京都）

「山梨県自然環境保全図」（平成21年6月、山梨県）

「しんしゅうくらしのマップ 自然・環境」（平成23年4月現在、長野県ホームページ）

「県域統合型GISぎふ 緑地環境保全地域」（平成23年4月現在、(財)岐阜県建設研究センターホームページ）より作成

### 3-8-2 自然景観資源の分布状況

対象計画区域の自然景観資源の分布状況は、表3-8-2に示すとおりである（図3-29参照）。

表3-8-2(1) 自然景観資源の分布状況

都県名	区分	箇所数	延長(km)	面積(km <sup>2</sup> )
東京都	滝	2	—	—
	峡谷・溪谷	1	0.9	—
	自由蛇行河川	1	2.9	—
	湖沼	5	—	0.2
神奈川県	滝	4	—	—
	峡谷・溪谷	1	4.0	—
	河成段丘	2	—	1.7
	海成段丘(サンゴ礁段丘)	1	—	0.0
山梨県	噴泉	13	—	—
	岩峰・岩柱	1	—	—
	溶岩トンネル・風穴	1	—	—
	滝	14	—	—
	峡谷・溪谷	9	63.6	—
	穿入蛇行河川	6	63.2	—
	カール	1	—	1.3
	大断層崖	2	—	4.1
	岩脈	1	—	0.1
	断崖・岸壁	5	—	0.8
	河成段丘	5	—	21.2
	流れ山群	1	—	0.3
	湖沼	4	—	10.6
	火山群	2	—	18.5
	甌穴群	1	—	0.1
	節理	1	—	0.1
	非火山性高原	2	—	16.1
	顕著な自然現象を記録する地形	2	—	8.6

資料：「第3回自然環境保全基礎調査（自然景観資源調査）」

（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

表3-8-2(2) 自然景観資源の分布状況

都県名	区分	箇所数	延長(km)	面積(km <sup>2</sup> )
静岡県	岩峰・岩柱	3	—	—
	構造土	2	—	—
	峡谷・溪谷	1	56.8	—
	滝	1	—	—
	カール	12	—	5.0
	二重山稜（線状凹地）	6	—	0.0
	特徴的な稜線	5	—	0.0
	非対象山稜	2	—	0.0
長野県	噴泉	2	—	—
	岩峰・岩柱	14	—	—
	構造土	2	—	—
	峡谷・溪谷	15	130.1	—
	滝	16	—	—
	甌穴群	2	—	—
	節理	2	—	—
	非火山性弧峰	3	—	—
	大断層崖	1	—	18.3
	断崖・岸壁	38	—	76.4
	河成段丘	8	—	159.2
	湖沼	2	—	0.0
	二重山稜（線状凹地）	5	—	—
	特徴的な稜線	8	—	0.0
	非対象山稜	1	—	0.8
	非火山性高原	4	—	18.2
顕著な自然現象を記録する地形	1	—	0.7	

資料：「第3回自然環境保全基礎調査（自然景観資源調査）」

（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

表3-8-2(3) 自然景観資源の分布状況

都県名	区分	箇所数	延長(km)	面積(km <sup>2</sup> )
岐阜県	滝	5	—	—
	節理	12	—	—
	非火山性弧峰	2	—	—
	峡谷・溪谷	4	10.2	—
	大断層崖	1	—	13.9
	河成段丘	1	—	0.0
	湿原	2	—	0.0
	湖沼	1	—	0.1
	特徴的な稜線	1	—	0.0
	非火山性高原	1	—	1.0
	顕著な自然現象を記録する地形	1	—	0.1
愛知県	滝	5	—	—
	非火山性弧峰	10	—	—
	峡谷・溪谷	2	4.8	—
	甌穴群	1	—	0.0
	節理	2	—	0.0

資料：「第3回自然環境保全基礎調査（自然景観資源調査）」

（平成23年4月現在、環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）より作成

### 3-8-3 触れ合い活動の場の状況

対象計画区域の触れ合い活動の場（主要な観光地）の分布状況は、表3-8-3に示すとおりである（[図3-30](#)参照）。

表3-8-3 触れ合い活動の場（主要な観光地）の分布状況

単位：箇所

項目	都県名						
	東京都	神奈川県	山梨県	静岡県	長野県	岐阜県	愛知県
施設	91	60	1	0	3	12	27
地域・範囲等	50	20	21	1	27	11	13

資料：「平成20年度全国観光動向」（平成22年7月、社団法人日本観光協会）より作成

### 3-9 環境への負荷の状況

#### 3-9-1 産業廃棄物の最終処分量

対象計画区域が存在する関係都県における産業廃棄物の最終処分量は、表3-9-1に示すとおりである。

表3-9-1 関係都県における産業廃棄物の最終処分量

単位：千t

都県名	実績	目標値
東京都	1,580 (2004年度)	1,200 (2010年度)
神奈川県	1,460 (2006年度)	430 (2015年度)
山梨県	247 (2003年度)	161 (2010年度)
静岡県	981 (2008年度)	863 (2015年度)
長野県	85 (2008年度)	70 (2015年度)
岐阜県	249 (2004年度)	255 (2011年度)
愛知県	1,413 (2004年度)	1,115 (2011年度)

資料：「東京都廃棄物処理計画」(平成18年9月、東京都)  
 「神奈川県廃棄物処理計画」(平成20年3月、神奈川県)  
 「山梨県廃棄物総合計画」(平成18年2月、山梨県)  
 「ふじのくに廃棄物減量化計画(第2次静岡県循環型社会形成計画)」(平成23年3月、静岡県)  
 「長野県廃棄物処理計画(第3期)」(平成23年2月、長野県)  
 「岐阜県廃棄物処理計画(改定)」(平成20年1月、岐阜県)  
 「愛知県廃棄物処理計画」(平成19年3月、愛知県)より作成

#### 3-9-2 温室効果ガスの排出量

対象計画区域が存在する関係都県における温室効果ガスの排出量は、表3-9-2に示すとおりである。

表3-9-2 関係都県における温室効果ガスの排出量

単位：千t-CO<sub>2</sub>

都県名	実績	目標値
東京都	58,860 (2000年度)	2000年度比-25%(2020年度)
神奈川県	71,660 (2006年度)	52,760 (2020年度)
山梨県	6,867 (2005年度)	5,432 (2020年度)
静岡県	31,558 (2008年度)	26,652 (2020年度)
長野県	16,150 (2004年度)	14,350 (2012年度)
岐阜県	15,800 (2004年度)	15,120 (2010年度)
愛知県	78,667 (2001年度)	68,650 (2010年度)

資料：「東京都環境基本計画」(平成20年3月、東京都)  
 「神奈川県地球温暖化対策計画 改訂版」(平成22年3月、神奈川県)  
 「山梨県地球温暖化対策実行計画」(平成21年3月、山梨県)  
 「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」(平成23年3月、静岡県)  
 「長野県地球温暖化防止県民計画 改訂版」(平成20年2月、長野県)  
 「岐阜県地球温暖化防止推進計画(一部改定)」(平成18年3月、岐阜県)  
 「あいち地球温暖化防止戦略」(平成17年1月、愛知県)より作成